

- A. 日時：2011 年 11 月 8 日（火）17 時 00 分～19 時 00 分
- B. 場所：建築学会会議室
- C. 出席者：安藤 啓，岩本毅，大嶋拓也，岡野利行，坂本慎一，中澤真司，永松英夫，羽入敏樹，濱田幸雄，平松友孝，平光厚雄，宮島 徹，吉村純一，横山 栄，富田隆太（井上先生代理）（敬称略）
欠席者：井上勝夫，佐久間哲哉，田端 淳（敬称略）

D. 提出資料

- 2011 年度第 4 回音環境運営委員会議事次第
- No.4-0 2011 年度第 3 回音環境運営委員会議事録（案）
- No.4-1 2011 年度第 3 回環境工学委員会議題
- No.4-2 2012 年度 委員会活動計画案
- No.4-3 小委員会設置申請書
- No.4-4 調査研究委員会主催 催し物 実施計画書
- No.4-5 2012 年度大会（東海）オーガナイズドセッション企画（案）
- No.4-6 「遮音性能測定に関するアンケートご協力をお願い」AIJ 建築音響測定法小委員会

E. 審議事項

0. 新たに委員に加わられた永松委員より自己紹介があった。

1. 前回議事録の確認

意見交換記録は議事録には含めないことを確認した。

p.1 資料番号を修正

p.2 審議事項 5)「同感である」を削除

p.3 4.③建築物音響測定法小委員会の物を削除

2. 環境工学本委員会の報告（資料 No. 4-1）

報告事項

(1) 学術推進委員会幹事会報告：

- a) 予算消化：来年度から建築学会は一般法人になるので，年度末までに予算消化を計画的にされたい。
- b) 竹中育英会：10 件中環境工学分野から 3 件が採択
- c) 2012 年大会：研究発表梗概応募要領については検討中である旨，報告された。
- d) 公募委員：委員が選出，承認された。
- e) 2012 年度技術部門設計競技：環境工学は見送ることとした。

f) 2009-2011 年度活動報告会：3/28 に活動報告会を開催する旨、佐土原委員長から報告があった。

(今年 3 月に予定していたが震災で延期・中止になったので、来年 3 月に行われる)

(2) 震災対応関係：

- ・和田会長の第一次提言が公表された。学会誌 10 月号「建築の原点に立ち帰る」
- ・環境工学委員会としては原発を重点担当。生活様式調査，省エネルギー設計，代替エネルギー利用，放射線対応策
- ・第二次提言に向けて今年度中に活動
- ・3/1, 2 建築学会シンポジウム「東日本大震災からの教訓，これからの新しい国づくり」(3/1 招待講演，3/2 一般公演) 1/10 17:00 一般公演の原稿締切。投稿予定の方は 11 月末までに専用サイトに事前連絡されたい。
- ・3/12(月) 環境工学本委員会シンポジウム「東日本大震災に学ぶこれからの環境工学」を開催予定

審議事項

- (1) 大賞候補推薦：昨年度に引き続き木村先生を環境工学委員会から推薦した。文化賞候補は推薦者なし。
- (2) 環境工学連合講演会：村上先生が委員となって参加される。
- (3) 2012 年度大会：
 - a), b) 協議会、懇談会とも震災関連なので調整が必要。初日夕方に楨先生の特別講演を開催予定なので、終了時間に配慮されたい。
 - c) 細分類・細々分類：音の分野は変更なし
 - d) オーガナイズドセッション：承認された。
- (4) 2012 年活動計画（各委員会・WG から報告）：活動期間は小委員会が最長 4 年，WG は 2 年で，その後は一度廃止申請の上，再設置する。その際の名称変更について，委員長会と事務局の見解を統一されたい。
- (5) 2012 年度予算配分：基本的には今年度と同じ分配方式で（大会梗概集の概要 2 点，OS4 点，論文集・技術報告集 10 点，シンポジウム参加者 1 点，出版・刊行物 50 点），割合を決めて分配を決める。
- (6) 特別委員会の設置：1 件（GCM を活用した近未来標準気象データの撮影に関する特別研究委員会）の提案があり，本委員会としては承諾した。
- (7) シンポジウム実施計画：固体音小委員会のシンポジウム実施計画が承認された。
- (8) 環境工学メールマガジン：「都市建築空間における音声伝送性能評価基準告知，同講習会」が今月 22 日に建築会館ホールにて開催されるとの内容を配信。是非，ご参加ください。
- (9) 環境工学委員会の規程改正：法人化するにあたり番号変更などが必要（事務的な改正のみ）
- (10) 委員の委嘱，解嘱：今回はなし。予算利用率について「使い切るように」と重ねて依頼あり。
- (11) シンポジウム開催：最近，刊行計画に則った出版に関連してシンポジウムを開催する例が多いが，刊行した以上シンポジウムで意見を聞くというのはおかしいので，必ず講習会という体裁にするようにとの方向で検討中。それに伴って，内部査読と外部査読の定義を明確にしたい。

3. 各小委員会・WG の活動報告（資料 No. 4-2）

① 固体音小委員会（中澤主査）

11/1 小委員会を開催。2012 年 3 月 5 日に第 70 回音シンポジウムを開催。企画やスケジュール等について

メール審議を実施。本年度、活動報告書をまとめる。

来年度の活動計画案としては、ゴムボール衝撃源の普及、A 特性評価手法、AIJES 化に向けた検討用資料の作成を予定している。

②集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

10/31 小委員会を開催。引き続き文献調査を行っている。騒音制御関連の文献がほぼ終わり、音響技術に関しての騒音レベルと測定事例の調査をしている状況。次回は 12/8 開催予定。

来年度の活動計画としては、引き続き最適な室内騒音レベルの検討と提案を行う。

施工段階あるいはモデルルーム等を使用して実際の生活音を測定し、実建物の室内発生音の把握を試みる。

③建築音響測定法小委員会（宮島主査）

9/30 小委員会を開催。測定法全般に関するオーガナイズドセッションが承諾された。内諾 5 件、前向きに検討 1 件、打診中 2 件。

フランキングに関するアンケートを作成中。ゼネコンの方が多委員会であることに配慮して設問を選定。文章は要見直し。簡単に答えて頂ける形にし、場合によってはヒアリングも検討。

次年度の活動計画としては、基本的に引き続き今の活動を継続していく。オーガナイズドセッションを予定。次回は 11/30 予定。

④室内音響小委員会（羽入主査）

10/12 小委員会を開催。主に室内音響の設計事例集を作成している。音の専門家ではない建築家の方々に向けて音の設計事例を紹介するもの。仮のフォーマットを決めて整理方法、公開方法（HP にするか出版にするか）を議論している。

④-1)音響指標測定法 WG : 9/26・10/26 開催、次回は 12/12 予定。音響指標算出段階のベンチマーク作成。成果を来年度でまとめ、出来ればシンポジウムを開催したい。

④-2)スピーチプライバシーWG : 11/16 開催予定。成果公表のシンポジウム等を企画中。次度の活動計画案は、最終成果のまとめ、事例集の公開、シンポジウム開催。次回は 12/19 予定。

売れる本を運営委員会で考えてほしいと上部委員会から言われている。専門家が読むような本をかみ砕いて、読者が広がっていくようなものを是非考えてほしい。

→あまり数式は載せず、写真中心に注意書きしたものを作りたい。ご意見があったらお願いします。実際、設計段階の注意ポイント等の生の声を反映させたい。

⑤音環境数値解析小委員会（坂本主査）

10/18 小委員会を開催。収益が上がらない講習会は認められず、シンポジウムあるいはチュートリアルという形になった。5月に基礎編（学生向け）、7月に応用編（実務者向け）として2回開催予定。活動計画は、事例の収集、HPの計画・準備など。

⑥音環境規準検討小委員会（平松主査）

10/6 小委員会を開催。集合住宅の遮音性能規準、遮音設計指針の2つを AIJES 化しようとして進めている。

3月までに WG ドラフトを執筆して、それ以降は企画刊行小委員会を立てて作る。10/9 大川さんと意見交換、10/31 建築環境規準小委員会を開催。

活動計画としては、企画刊行小委員会設置後も本小委員会は継続して長期的な視野での運用を考えて行く。遮音性能規準 WG は平松主査、遮音設計指針 WG は田端主査として、2013 年度末には出版したい。

⑦企画・広報 WG（峯村主査）

10/28 委員会開催。研究動向調査を実施中。最近の文献を加えて分類作業を分担しておこなっており、今年度を目標にデータベース作成予定。

来年度の活動予定は、分類結果の分析。「住まい方マニュアル」については、次回の運営委員会までに目次案を提出できるようにしたい。次回は1/31開催予定。

4. 他学会・研究会等の予定

・建築音響研究会

12月21日 日本大学@お茶の水

1月25日 浜松アクトシティ

3月は固体音をテーマに開催予定

5. 次回予定

第5回音環境運営委員会は2012年2月21日（火）17時～開催する。